



## 1年の幕開けに走り初め

1/1 新春さわやか元旦マラソン

第8回新春さわやか元旦マラソン（スポネット常念主催）が1月1日、堀金地域の拾ヶ堰沿いで行われました。この日は、市内外から251人のランナーが参加。2<sup>キロ</sup>・3<sup>キロ</sup>・5<sup>キロ</sup>のコースを、各々のペースで走りました。家族で参加した長田明さん（堀金烏川）は「年の初めに走るとさわやかな気持ちになれるので、毎年参加しています。それぞれコースを選んで、自分のペースで気軽に走ることができます」と話してくれました。



## 年末の市民の安心・安全を守る

12/25 市消防団年末特別警戒

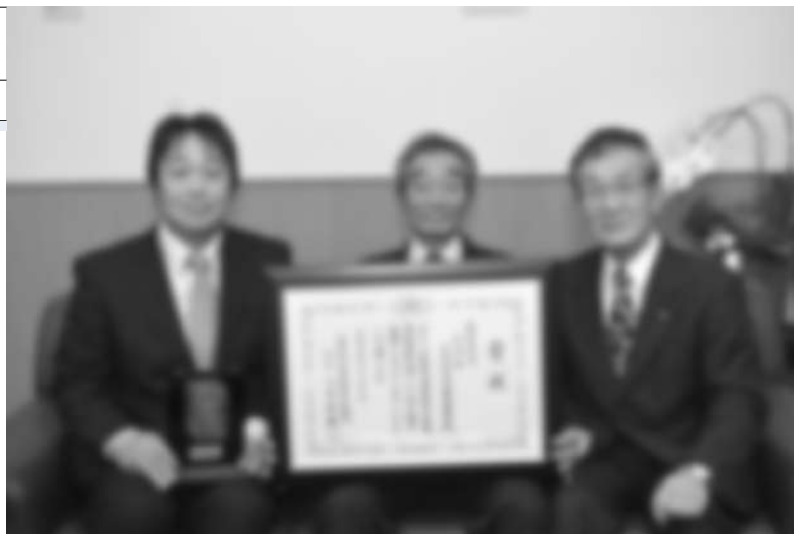
市消防団（寺畑佳司団長）は、12月25日から30日まで恒例の年末特別警戒を行いました。初日となる25日には、豊科ふれあいホール（豊科）で激励が行われ、中堅幹部以上の団員124人が、宮澤市長、消防・警察関係者からの激励を受けました。宮澤市長は「市民の皆さんが安心して新年を迎えることができるよう、警戒をお願いします」と団員を激励しました。期間中、各分団では団員が管轄管内を消防車両や徒歩で回り、警戒にあたりました。

## 安曇野の農業が全国3位を受賞

12/13 農林水産祭式典表彰受賞報告

11月に東京都で行われた農林水産祭式典（農林水産省・日本農林漁業振興会共催）で、市内から(有)斉藤農園（堀金烏川）が、農産部門において全国第3位に該当する日本農林漁業振興会会長賞を受賞しました。同農園を経営する斉藤彰久さんと長男の岳雄さんが12月13日、本庁舎で宮澤市長に受賞を報告しました。

斉藤さんは約30ヘクタールの農地で水稻を中心に大豆、ソバなどを栽培。大学との連携や地域との交流などにも力を入れており、こうした取り組みが評価されました。今回の受賞に彰久さんは「受賞が安曇野の生産者の励みになればうれしい」と話し、岳雄さんは「農産物の生産だけでなく、加工や販売までいろいろなことに今後も挑戦していきたい」と目標を話しました。



## 冬の夜を彩る色とりどりの光

12/26 Azumino. 光のページェント

安曇野の冬の夜を彩るイルミネーションが市内各所で行われています。

このうち豊科南穂高のビレッジ安曇野一帯で行われている「Azumino. 光のページェント」（同実行委員会主催）のイルミネーションでは、約15万球の電飾が飾り付けられています。年末には親子連れなどが訪れ、色とりどりの光に歓声が沸き、記念写真を撮る姿も見られました。

なお、同会場と穂高有明の八面大王足湯周辺の「光の安曇野伝説」のイルミネーションは、1月31日まで行われています。

## 道祖神の里 安曇野

12/14 道祖神シンポジウム 12/27 健康長寿道祖神除幕式

「安曇野のお祭り展」（同実行委員会主催）の関連イベントとして道祖神について考えるシンポジウムが12月14日、豊科交流学习センター「きぼう」で行われました。当日は道祖神研究の第一人者である倉石忠彦さん（國學院大学名誉教授）による基調講演や有識者4人によるパネルディスカッションが行われ、市民など約120人が聴講しました。

また、穂高神社（小平弘起宮司）では、高さ約2.5メートルのステンレス製「健康長寿道祖神」が設置され、除幕式が12月27日、同神社境内で行われました。この道祖神は平成25年厚生労働省統計発表で長野県が男女とも平均寿命日本一となったことを記念し、同神社が市内の彫刻家中嶋大道さんに制作を依頼。安曇野に多く見られる男女が手を取り合う双体道祖神を、能の「高砂」をモデルに老夫婦の姿で現代風に表現しています。小平さんは「道祖神を通じて訪れる皆さんに健康づくりに関心を持ってもらえれば」と話しました。



写真上：健康長寿道祖神 写真左下・右下：道祖神シンポジウム



## ピリッと辛いワサビ漬け作りを体験

12/4 ワサビ漬け作り体験会

安曇野の特産品であるワサビを使った「ワサビ漬け作り体験会」（せせらぎを愛する会主催）が12月4日、明科自然体験交流センター「せせらぎ」で開催されました。この日は、市内外から40人が参加。ワサビの切り方や辛く漬けるためのコツなどを会員から説明を受けた後、ワサビ漬け作りを体験しました。東京都から移住し、地域の産業に興味があるという荒野勲さん（池田町）は「ワサビを切ったときは涙が出て大変でしたが、とても楽しかったです。どんな味が楽しみです」と話してくれました。